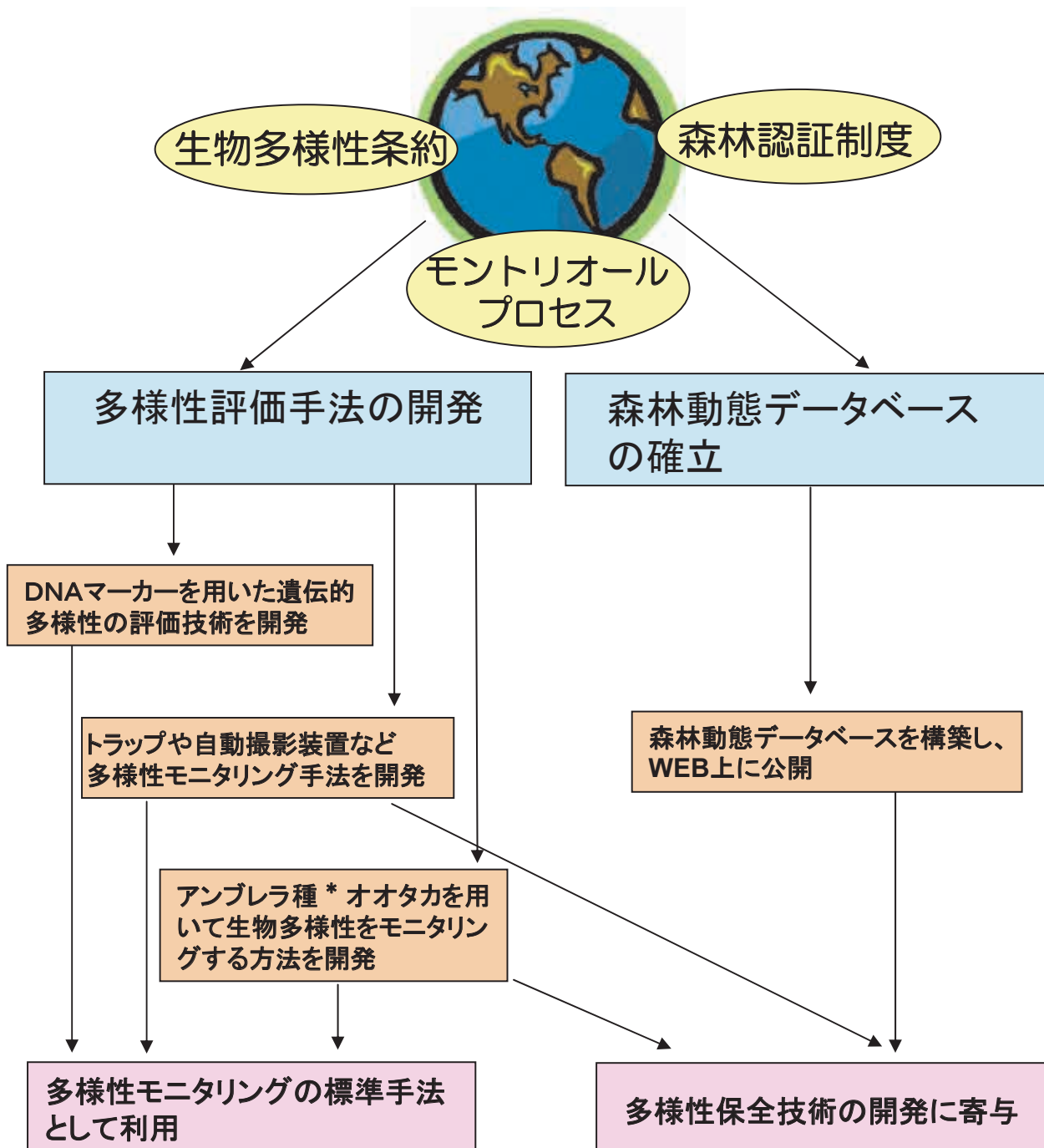


ア分野 森林における生物多様性の保全に関する研究 (ア) 生物多様性の評価手法の開発

背景と目的

近年、世界的な動きとして、モントリオールプロセス^{*}や生物多様性条約、森林認証制度のように、生物多様性に配慮した森林の管理が求められているため、森林の生物多様性を評価する手法を開発する必要があります。そこで、各森林タイプ毎に生物多様性のモニタリング手法とその評価法の開発をめざしました。



多様性モニタリング手法の開発、モニタリング装置の実用化



哺乳類自動撮影装置
(製品化)

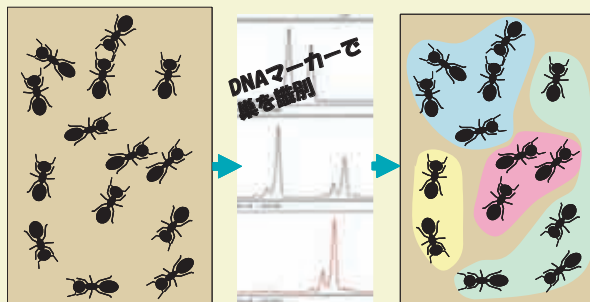
昆虫用簡易型羽
化トラップ
(特許出願中)



ハチ類の画像データベース

一般への広報・普及および関連研究分野への利用に貢献しました。

遺伝子マーカーによる種内の遺伝的多様性を調べる方法を開発



遺伝マーカーを使えば巣の数を推定できます。

森林動態データベースを公開



森林動態データベース

生物多様性保全分野の研究進展に貢献しました。

生態系のアンブレラ種であるオオタカを指標とした多様性のモニタリング手法開発



希少種オオタカ



オオタカの生息→地域の生態系に特定の生物種が生息することを証明

*については、巻末の用語解説をご覧ください。